

新潟県卓球連盟

卓球便

vol.54

令和2年1月31日

発行人／新潟県卓球連盟
印刷所／(有)フジプリント
(新潟市)

茨城国体を終えて 成年男子28年ぶりの第5位入賞！

成年男子監督
立川 正史

国体は「ふるさと選手制度」が導入されて以来、年々レベルが上がり本国体へ出場することも非常に難しくなっています。そんな中、北信越国体を突破し、令和元年の天皇陛下が即位された記念すべき「茨城国体」で、成年男子は実に石川国体以来二十八年ぶりに第五位入賞を果たすことができました。これもひとえに、頑張った選手はもちろんのこと、コーチ・スタッフ、大会に応援に来ていただいた金子さん夫婦をはじめ、保護者の皆様のおかげと感謝いたします。

(試合結果)

第一戦 新潟県 三一二 山形県
選手構成・岩崎選手（日野自動車）
中橋選手（駒澤大学）



葉波選手（早稲田大学）

○初戦の山形県戦は、石山選手が敗れた後、続く龍崎選手が選球したボールが、ラリー中に真下に落ちるほど、不良のボールに悩まされポイントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

ラストの石山選手も有延選手に

ボーラー

が、ラリー中に真下に落ちる

ほど、不良のボールに悩まされポイ

ントを落とし、まさかの〇一スタート。そこ

敗退、

から宮澤選手、

龍崎選

手が取

り返し、

試合結果にも選手構成を書いておりますが、成年男子のベスト四チームは、全国の強豪校である野田学園高出身者で固める山口県、愛工大名電高出身者で固める愛知県、明徳義塾高出身者で固める高知県、日本リーグ住金物流で固める和歌山県となつており、その県に強豪校があるか実業団チームの選手がいることが、ベスト四以上に入賞できるかどうかの分かれ目になつています。新潟県は、龍崎選手を除いて、すべて地元高校を卒業した選手であり、そういうことを考慮すれば、第五位に入賞できることは、大いに評価できる内容です。ただ、今まで入賞できることは、年に評価で年々入賞する可能性は低くなります。幸い新潟県には、ジュニア層の有望な選手と若いやる気のある指導者がいます。是非、若い指導者には全国を見据えて見分を広げていただき、自分の名誉よりも選手ファーストの気持ちを忘れず、ジュニア層の指導者と連携し、新潟県内で全国に通用する強豪校に育てあげていただきたいと思います。そのことが、少年種別、成年種別の国体での入賞につながっていくと思います。

今回もう一つ感じたことは、毎年入賞する県は、選手をケアするためトレーナーを帯同させており、プロチームの対応に近いものがあることです。新潟県も遅れをとらないようになければいけないと感じた大会でもありました。

本年度、成年女子はストレート種目ということで北信越国体を経ずに本戦に参加して参りました。メンバーアーは和仁ももこ（専修大学三年）、相馬天音、永目真唯（いずれも新潟大学二年）、予備登録選手として水野寛子（新潟大学四年）という大学生のみの構成でした。年齢も近く、現在同じ所属で活動している選手が三名であります。



事前の準備としては、本戦直前の九月二十四日（火）、二十五日（水）の日程で金城大学において合宿を行いました。金城大学は石川、長野、山梨、栃木の各県の国体代表選手を擁しており最終調整には適切な環境でした。一日目はそれぞれの選手の戦術的な部分で戦い方の軸が定まつていませんでしたが、二日目は徐々にその部分がまとまってきたため実りある遠征になつたものと思ひます。

しかしながら本戦の結果は高知県に〇一三で敗れてしましました。一番 和仁二一三松澤、二番 相馬一一三上田、三番 永目二一三竹本

の結果は高知県に〇一三で敗れてしましました。一番 和仁二一三松澤、二番 相馬一一三上田、三番 永目二一三竹本

というゲームカウントで、一マッチ、一ゲーム毎に見ると接戦であり、直前の調整の成果はあつたものと思われます。高

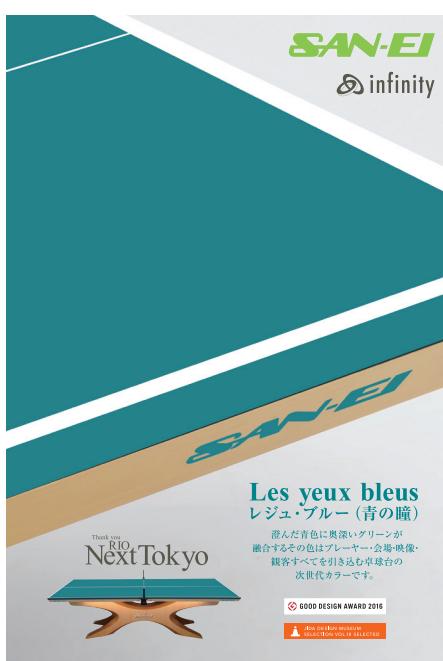


成年女子監督
牛山 幸彦

体に参加しておりました。そのため選手同士のコミュニケーションもよく取れおり、本年度は予備登録ではありますが昨年度の新潟県の第一代表であつた年長の水野選手がよくリードしてくれ、まとまりのあるチームでした。

事前の準備としては、本戦直前の九月二十四日（火）、二十五日（水）の日程で金城大学において合宿を行いました。金城大学は石川、長野、山梨、栃木の各県の国体代表選手を擁しており最終調整には適切な環境でした。一日目はそれぞれの選手の戦術的な部分で戦い方の軸が定まつていませんでしたが、二日目は徐々にその部分がまとまってきたため実りある遠征になつたものと思ひます。

最後になりますが、渡辺会長はじめとした新潟県卓球連盟の役員強化部スタッフから大変なご協力をいたいたことに感謝申し上げ、茨城国体のご報告とさせていただきます。



北信越国体を終えて



少年男子監督
山岸 健弥

八月二十三日(金)～二十四日(土)

に北信越国体に参加させていただいた。

チーム編成は竹田京平、呂子韓、

渡辺凱を選手とし、武藤大和が予備

登録選手(いずれも新潟産業大学附

属高等学校)の計四名で戦った。今

年度は全国高等学校総合体育大会が

遅く、大会終了後すぐに北信越国体

といったスケジュールであった。

大会では、初戦が長野県、二試合

目が福井県と本国体出場を左右する

対戦が早い段階であるドローとな

り、厳しい戦いも予想された。初戦

の長野県では、エースの渡辺凱が一

番で勝利、二番の竹田京平は接戦で

敗れた。三番の呂子韓はゲーム力ゆ

り、三番の渡辺凱がエース対決を落とし、接

戦の末一―三で長野県に敗退した。

気持ちを切り替え、二戦目の福井

県に臨んだ。一番で渡辺凱が勝利、

二番の竹田京平は敗れた。三番の呂

子韓は先ほどと同様にゲーム力で

トを二一〇とリードしながらも、相手の戦術変更に対応できずに二一三で敗れた。後半で四番の渡辺凱がエース対決を落とし接戦の末一―三で福井県に敗退した。

三試合目の石川県には〇一三で敗退し、四試合目の富山県には二一〇で勝利した。通算成績は一勝三敗の

令和元年度北信越国体に参加して



少年女子
(北越高等学校三年)
伊藤 希望

最後に、応援していただいた方々、関係者の皆様には申し訳ない気持ちと支えてくださいたことへの感謝の気持ちを表します。本当にありがとうございました。

令和元年度の北信越国民体育大会卓球競技は石川県白山市松任運動公園体育館において八月二十四日から二十五日に開催されました。本年度、少年女子は、監督 竹内聰(北越高等学校)、コーチ 石田光(新潟大学大学院)、主将 児玉茉優(北越高等学校)、選手 伊藤希望(北越高等学校)、横内玲香(開志国際高等学校)、予備登録 佐藤杏香(開志国際高等学校)のメンバーで臨みました。

各学校での個人練習に加え、大会前には今年度のインカレ優勝校である愛知工業大学への遠征合宿で、大学生との試合を通して、サービスを

中心に技術やゲームの戦術の立て方に磨きをかけることができました。大会は五チームのリーグ戦で行われ、第一試合目が福井県との対戦でした。この試合が本国体出場への力ギとなる試合になると見え、全員が「絶対に勝ちに行く」という強い気持ちで試合に臨みました。一番で伊藤が三対一で勝ち、まず先制しました。二番で児玉選手が相手の速いピッチに対応し、持ち味であるバッケハンドの変化を生かしひとつずつ勝利の接戦となりましたが、惜しくも敗退しました。三番の横内選手は中止で試合に臨みましたが、惜しくも敗退しました。結果、一対三で敗退し全

ての試合で勝利を収めました。



その後の長野県、富山県には勝利し、リーグ戦二勝一敗で全勝の石川県との対戦になりました。一番の児玉選手が今年度インターハイシングルスチャンピオンと対戦しましたが、圧倒され敗退、二番の伊藤が快勝し前半は一対一のいい戦いでしたが、三番の横内選手は前年度のインターハイダブルスチャンピオンと対戦し、善戦及ばず敗退となりました。

四番の伊藤も今年度のインターハイ

シングルスチャンピオンのピッチの速さとコースの厳しさに苦戦し敗退しました。結果、一対三で敗退し全體としても三位で本国体の出場権を獲得することができませんでした。

今年度のチームは、皆一年生のころからライバルであり切磋琢磨してきた仲間ですが、団結力があり、試合のプレーは実力以上のことが発揮できました。本国体に出場できなかったことはとても悔しいことでしたが、その気持ちを忘れることが出来たと思います。本国体に出場できなかつたことはとても悔しいことでした。しかし、それが今後は卓球人生と大会に生かしていきたいと思います。

最後になりますが、様々な面でご支援・ご協力頂いた新潟県卓球連盟役員をはじめとする関係者の方々、監督、コーチの先生方に感謝申し上げ、北信越国体のご報告とさせていただきます。応援ありがとうございます。

最後になりますが、様々な面でご支援・ご協力頂いた新潟県卓球連盟役員をはじめとする関係者の方々、監督、コーチの先生方に感謝申し上げ、北信越国体のご報告とさせていただきます。応援ありがとうございます。

**令和元年度 全国高等学校総合体育大会卓球競技大会
第88回全国高等学校卓球選手権大会
「感動は無限大 南部九州総体2019 韶かせろ 我らの魂 南の空へ」**



滋 松 本 連 長
新 卓 球 選 手 権 委 員 会 門 部 高 体 員 連 長

今年のインハイは鹿児島県鹿児島市(鹿児島アリーナ)で行われました。男子団体は新潟産業大学附属高校が群馬県の樹徳高校に○一三の初戦敗退。昨年のように旋風を巻き起こすことが出来ませんでした。シードをもらえないためくじびきで場所が決ること、後半勝負のオーダーで前半点が取れなかつたこと、など様々な原因があつたと思いますが、トーナメントでの一発勝負の怖さをさまざまと感じさせられた試合ではありました。地力があるチームであり次戦での活躍を期待したいと思います。

女子団体は新潟産業大学附属高校が三重県の白子(しろこ)高校にこちらも○一三。若い監督若いチームなだけに躍進を期待しましたが、なかなか全国では結果が出せない状態です。県内の激戦を勝ち抜いての代表なのであります。こちらも次戦に期待したいと思います。

男子ダブルスは上越高校の高橋・山本組が三回戦進出(ベスト三二)、

新潟産大附の竹田・渡辺組も同じく三回戦(ベスト三二)と両チーム立派な成績を残しました。

女子ダブルスは北越の児玉・伊藤組が四回戦進出(ベスト一六)とがんばりました。一年生の時からインハイに出ており経験も十分、二人で組んでいる期間も長くその経験も豊富であり、高校での集大成として結果を残せたのではないか。開志国際の陳・佐藤組は大分明豊の新野・秋吉組に二一三で初戦敗退でした。

男子シングルスは渡辺(新潟産大附)が三回戦進出(ベスト六四)、任(開志国際)、竹田(新潟産大附)が二回戦、高橋(上越)が初戦敗退

女子シングルスは児玉(北越)が二回戦、伊藤(北越)、佐藤(開志国際)、橋村(北越)が初戦敗退でした。

今回の大会を見て思うことは、三年間インハイに出続けて確かな跡を残した者、初めてのインハイで思うように結果が残せなかつた者、一種目は良かったが他の種目はという者。様々なドラマがあるということ。

団体、シングル、ダブル全てに良い結果が出せることが理想だろう。ですが一週間もの間、調子を持続する必要があり、その日その日の違う状況の中で自分のベストパフォーマンスを出すことは難しいと感じます。県で勝つたからといって全国で勝ちたいと思います。

男子団体は、新発田東、青海、三島、五十嵐が登場した。青海は一勝二敗、五十嵐は〇勝三敗で予選リーグ敗退となつた。直江津東と新

るとは限らない。そこには大きなギヤップが存在し、昔から「全国で勝とう」という意識がない者は全国では勝てない」と言われています。インハイに出る選手で努力していない人はいないでしょう。が、何が結果を分けてしまうのでしょうか。種目の多さ? 雰囲気に飲まれる? 作戦が通じない? 相手の情報? 私は私なりに原因を考えていきたいと思います。

また、県外への選手流出は今のスポーツ界では最重要問題の一つでしょう。卓球においても県外へ出て活躍する選手、県外へ出て実績が出ない選手、

県外から来て: 様々な人生があります。その環境が自分に合うかどうかはやつてみないと分からぬ部分もあるのでなんとも言えませんが、県外へ出て自分の力を伸ばしている選手にはがんばって欲しいと思います。今インハイでは団体で八、ダブルスで一六、シングルで六四などの成績を残している選手たちがいます。今活躍している選手たちの応援とその選手たちの活躍をPRして、県卓球界の活性化を推し進めていければと考えています。



新潟県中学校体育連盟
卓球専門部長

棄原 裕

北信越中学校総合競技大会卓球競技を終えて

八月六～八日、小千谷市総合体育馆において卓球競技が開催された。メインアリーナに二十四台のコートを作り、団体戦は一試合・五～二台進行で進められた。会場は冷房、空調設備が完備され選手にとつては快適な状態で試合を進めることができた。

男子団体は、新発田東、青海、三島、東、黒崎、西山が登場した。西山は一勝二敗、黒崎は〇勝三敗で予選リーグ敗退となつた。直江津東と新発田川東は三勝で一位となり、決勝トーナメント進出を果たした。特に、新発田川東は優勝候補の小浜第二



（福井）を破つてのリーグ一位であつた。しかし、決勝トーナメント一回戦で七尾（石川）に二ー三で敗れてしまい、全中出場は果たせなかつた。直江津東は一年生が加入したことでのチーム力が大幅に上がり、前評判通りに優勝した。全中でも活躍が期待されるチームである。

男子個人では、姚（新発田東）が三位入賞し、全国大会出場を決めた。昨年度全中に出場し、入賞が期待された若月（柏崎第二）は三回戦で敗退し、決勝戦でも勝ち上がれずに涙を飲んだ。小唄（新発田東）も同じく決勝戦で敗れた。

女子個人では、決勝は遠山（水原）と佐藤（直江津東）の新潟県の一年生対決となつた。互いに自分の良さを出し、質の高いラリーが続いた。三ー二で遠山が勝ち、優勝した。また、県チャンピオンの本間（新発田東）が五位入賞、山岸唯菜（直江津東）が三回戦敗退であつたが、決定戦で勝利し、全中出場を決めた。女子においては、四人の出場者全員が一年生という結果だつた。

地元開催の年に女子団体優勝と男子団体準優勝。そして、昨年度に続く女子個人戦優勝、さらに男女合得という素晴らしい成績を

[成績]**（男子団体）****予選リーグ**

- 新発田東 4ー1 総社東（岡山）
- 新発田東 3ー2 上士幌（北海道）

決勝トーナメント

- 1回戦 ×新発田東 2ー3 明豊（大分）
ベスト13

（女子団体）**予選リーグ**

- 直江津東 5ー0 苦小牧青翔（北海道）
- ×直江津東 2ー3 宇土鶴城（熊本）

（男子個人）**1回戦**

- 姚 東申（新発田東）3ー0 八色遙斗（長崎・長与）

2回戦

- ×姚 東申（新発田東）2ー3 中谷歩夢（静岡・浜松修学舎）

（女子個人）**1回戦**

- 本間あかり（新発田川東）3ー0 渋谷有里子（大分・本耶馬溪）

- 山岸唯菜（直江津東）3ー1 宮國悠乃（沖縄・平良）

- ×佐藤野々華（直江津東）2ー3 新治愁菜（茨城・青葉）

2回戦

- ×本間あかり（新発田川東）1ー3 岩木仁香（神奈川・横浜隼人）

- ×山岸唯菜（直江津東）0ー3 小塩遥菜（東京・稻付）

- 遠山紗瑛（水原）3ー2 上澤杏音（大阪・貝塚第二）

3回戦

- ×遠山紗瑛（水原）0ー3 野村 光（愛知・刈谷南）
ベスト32

収めることができた。他県の選手に對して技術的にもひけをとらず、ラリー戦でも臆することなく勝負できていた。選手・指導者の努力はもちろん、新潟県の北信越でも戦えるチームや選手が増えてきたことは喜ぶべきことである。

最後に、今大会を運営するにあたり、小千谷市教育委員会をはじめ、新潟県卓球連盟、中体連事務局、専門部、小千谷市内顧問、補助役員生徒など多くの方々から御尽力いただきとに感謝して講評とさせていただだく。

今年度の全中は第五十回の記念大会であり、目の前に琵琶湖が広がる滋賀県立体育館（ウカルちゃんアリーナ）で開催された。コンパクトな会場であつたが、できる限りの大会運営が行われていた。

新潟県勢は男子団体で新発田東、女子団体で直江津東が出場した。団体で男女そろつての出場は十二年ぶりの快挙である。個人戦では男子一名、女子四名が出場した。

男子団体では、新発田東が予選リーグを二勝して予選を突破し、優秀十三校として表彰された。一試合目の総社東（岡山）戦は、エースの姚と本間、小唄、鈴木の四シングルスを取り、ダブルスもゲームを奪うなど

【講評】

今年度の全中は第五十回の記念大会であり、目の前に琵琶湖が広がる滋賀県立体育館（ウカルちゃんアリーナ）で開催された。コンパクトな会場であつたが、できる限りの大会運営が行われていた。

新潟県勢は男子団体で新発田東、女子団体で直江津東が出場した。団体で男女そろつての出場は十二年ぶりの快挙である。個人戦では男子一名、女子四名が出場した。

女子団体では、直江津東が一勝一敗で、惜しくも予選リーグを突破することはできなかつた。一試合目の宇土鶴城（熊本）戦は二ー三で惜敗。アップダウンサーブを使う選手が多く、それをうまくレシーブできなかつた場面が多かつた。オーダー次第では勝つチャンスも十分にあつた。一年生が四人もレギュラーとして出場しているので、来年も期待したい。

第50回全国中学校卓球大会

●令和元年8月20日(火)～23日(金)

●滋賀県立体育館（ウカルちゃんアリーナ）





男子個人戦では、姚（新発田東）が一回戦は危なげなく勝利したが、二回戦で浜松修学舎中（静岡）の選手に接戦で敗れてしまった。先手を取れたときは得点できていたが、最終ゲームでは相手に台上処理で先手を取られ、ラリー戦でもミスが続いてしまった。二ゲームを先取していただけに非常に惜しい試合だった。

女子個人戦では、本間（新発田川東）が一回戦で本耶馬渓中（大分・九州三位）の選手と対戦した。同じ

カットマンだったが、ツツツキのラリーに変化をつけて攻撃につなげたり、コースを広く使って相手を揺さぶったりして得点を重ねた。どのゲームも接戦であったが、三一〇で勝利した。二回戦は、横浜隼人中（神奈川）の選手と対戦した。相手は本間のバックハンドに対し下がつてループドライブで返球したり、ツツキで粘つたりという戦術をとつてきた。緩急をつけるプレーに対しの対応ができず、一一三で敗退した。

山岸（直江津東）は、一回戦は平良中（沖縄）の選手と対戦。一ゲーム目は相手のサーブに苦戦して落とした。二ゲーム目は強気で攻め続けてデュースでゲームを奪い返した。三ゲーム目以降も終始ラリーの主導権を握る展開に持ち込み、三一一で勝利した。二回戦は優勝した第二シードの稻付中（東京・エリートアカデミー）の選手と対戦した。カットマンでラケットをクルクル持ち替えて、カットに変化をつけるプレーが特徴である。その変化に対応しきれず、一ゲームも奪えずに敗れた。

遠山（水原）は一回戦シードで二回戦からの登場だった。相手は団体戦で準優勝した貝塚第二中（大阪）のメンバーである。二ゲーム目を連取し、このまま勝つかと思われたが、三・四ゲーム目を落としてしまった。五ゲーム目、四一六で遠山がタイムアウト。これで流れが変わった。さらに相手のネットインを執念で返し、得点。最後は一一九で取り、三一二で勝利した。二回戦は刈谷南中（愛知・東

の選手と対戦した。相手の速いピッチに対して緩急をつけた返球や広角に打ち分けていく佐藤。得意のサーブからの三球目攻撃も冴え、ゲームカウント二一一となり。そこから四・五ゲーム目をデュースで落としてしまい、惜しくも二一三で敗退となつた。

山岸（直江津東）は、一回戦は平良中（沖縄）の選手と対戦。一ゲーム目は相手のサーブに苦戦して落とした。二ゲーム目は強気で攻め続けてデュースでゲームを奪い返した。三ゲーム目以降も終始ラリーの主導権を握る展開に持ち込み、三一一で勝利した。二回戦は優勝した第二シードの稻付中（東京・エリートアカデミー）の選手と対戦した。カッ

トマンでラケットをクルクル持ち替えて、カットに変化をつけるプレーが特徴である。その変化に対応しきれず、一ゲームも奪えずに敗れた。

遠山（水原）は一回戦シードで二回戦からの登場だった。相手は団体戦で準優勝した貝塚第二中（大阪）のメンバーである。二ゲーム目を連取し、このまま勝つかと思われたが、三・四ゲーム目を落としてしまった。五ゲーム目、四一六で遠山がタイムアウト。これで流れが変わった。さらに相手のネットインを執念で返し、得点。最後は一一九で取り、三一二で勝利した。二回戦は刈谷南中（愛知・東

海二位）の選手との対戦。相手のサーブをうまくレシーブできなかつたり、ツツツキのラリーから先に攻撃を仕掛けるが、それをカウンターで狙われた。相手のパワーのあるボールに終始ラリーの主導権を握られ、一三で完敗。

残念ながら、団体戦と個人戦で入賞チーム、入賞者はいなかつた。しかし、新潟県勢としては健闘し、来年度以降も期待のもてる大会であつた。団体戦で出場したチームの主将に感想を聞いてみた。「とても緊張しました。この大会が最後だったので、負けたら終わりという思いで試合をしました。ベスト八という目標を達成できなくて悔しかつたが、全国でベスト十三に入れて嬉しい気持ちもある。後輩たちには、またここ（全中）に来てほしい。難しいけど、優勝してほしい。（新発田東・小倉）「私たち北信越一位だつたけど、他のプロックでは強いチームがたくさんいる。上には上がいるんだなと感じた。予選リーグを突破できなくて悔しかつたけど、みんなと協力して全中まで来られてよかったです。後輩たちには、もっと練習して強くなり、ベスト四に入つてほしい。（直江津東・神林）

全国レベルのプレーを見ると、男女とも攻撃力はもちろんだが、相手の攻撃に対するブロックができるなければ得点につながらない。ブロックからの逆襲で得点できる選手が上位に上がつてくる。また、「打たれる」ではなく、意図的に「打たせて」力

ウンターで狙つていく戦術で得点を重ねている選手も多かつた。上位の選手は何本も連續で攻撃できるための体幹の強さがあり、それがプレーの安定性につながつていている。女子では、前陣でプレーする他にもツツキやストップをうまく使い、相手に先手を取らせないプレーもできないとなかなか勝てないと感じた。

昨年度も記述したが、部活動が制限されている中で、今まで以上に新潟県卓球連盟強化部、小学委員会、高体連、クラブチームなどと連携を取りつていくことが求められる。そうすることで、技術面・精神面での向上、さらに新潟県全体のレベルアップにつながると考える。



2019世界ジュニア卓球選手権日本代表一次選考会の開催



新発田市卓球連盟
理事長
清野 勝彦

見ることができ
てとても感動し
たとのコメント
が聞けた。

ただ、PR不

足もあつたかも
知れないが、選
手と同年代の小

学生・中学生・



八月二十九日(木)～九月一日(日)
までの四日間、新発田市カルチャー
センターにおいて、二〇一九世界
ジュニア卓球選手権大会日本代表一
次選考会が開催された。

出場選手は全国大会で上位入賞を

收めている小学生、中学生、高校生
から選ばれたメンバー男女それぞれ
十六名で、試合形式は五ゲームマッ
チの総当たりリーグ戦となる。最終

選考会では、一次選考会の中から上
位の男子六名、女子五名が選ばれ、
これに推薦となる選手を含め、男女
それぞれ十二名で争われる。さらに、
本大会には選考会からわずか二名し
か代表になれない(世界ランキング
日本人トップ選手二名は代表内定
済)という、とてもハードルの高い
選考会である。

最終選考会に出場した上位選手

男子 一位濱田(愛工大名電高校)

二位宮川(野田学園高校)

三位横谷(愛工大名電高校)

四位谷垣(愛工大名電高校)

五位徳田(野田学園中学校)

六位手塚(明徳義塾高校)

一位中森(四天王寺高校)

二位浅井(桜丘高校)

三位菅澤(四天王寺高校)

四位白山(明徳義塾中学校)

五位木塚(済美高校)

高校生の観戦者が少なかつたことは
残念であつた。

終わりに、今大会四日間を通して
反省点はあるもののスムーズに運営
できたことは、日本卓球協会関係者、
新潟県卓球連盟関係者はじめ、藤田
審判長と審判員の皆様、新発田中央
高校の生徒、そして新発田市スポー
ツ推進課と新発田市卓球連盟方々の
ご尽力のお陰であります。大変お
世話になりました。ありがとうございました。
新潟県卓球連盟関係者はじめ、藤田
審判長と審判員の皆様、新発田中央
高校の生徒、そして新発田市スポー
ツ推進課と新発田市卓球連盟方々の
ご尽力のお陰であります。大変お
世話になりました。ありがとうございました。

九月二十八日(土)・二十九日(日)
に亀田総合体育館で北信越五県(長
野県・福井県・石川県・富山県・新
潟県)総参加人数三二一人が日頃の
練習成果を思う存分發揮し、競い合
いました。

一年前よりレディース委員会で、
基本的な試合のほかに決勝トーナメ
ントで一回戦敗退チームに対し敗退
チームトーナメントをやつたらどう
か、タイムテーブルもつくつたらど
うかと意見があり、今まで行つたこ
とのない提案を実行してみました。
たくさん試合ができ、また、たくさん
交流ができたと大好評でした。



新潟県レディース
委員会
渡部 敏恵



ライジング新潟のメンバーが
明るく選手宣誓を行いました。

第三十一回 北信越プロックレディース卓球大会

行委員長の指揮のもと進行委員が確
実にスムーズに進行して下さり、各
県の選手の方々から称賛の声! 会
長はじめ副会長・理事長・新潟市卓
球連盟副会長、役員の家族、各クラ
ブの卓球の仲間達、多くの方々の力
をお借りし、また、各後援会、各メー
カーからの応援もあり大会は大勢の
ご協力のもと大成功に終わることが
できました。改めて大会運営に関
わつてくださった方々に深く感謝し
御礼申し上げます。

これからも皆様のご支援、ご協力
のもと県レディースを盛り上げてい
きたいと思つております。

原点回帰

ノングルー時代こそ元祖・高弾性高摩擦ラバー

MARK Vへ帰る



<http://www.yasaka-jp.com>

普及指導者講習会の開催報告



佐渡卓球連盟
会長
仲 道 智



五月十一日（土）に両津総合体育館を会場に指導者講習会が開催されました。講師はバルセロナオリンピック日本代表の仲村錦治郎様。佐渡では初めての講習会であり、島内指導者及び帶同選手八十八名が参加しました。

仲村氏は会場入りすると帶同選手の練習状況を確認し、佐渡の子どもたちのレベルに合った講習内容に組み立て直してくれました。講習会では、①狙った方向にボールを打つために打ちたい方向に押し出すこと。②トップスピンをかけられるようにならなければ、ラケットの面を正しく作り、③サービスはインパクトの瞬間をでかけるだけ短くし、フオロースル！など、実演を織り交ぜながら丁寧に指導していました。また、

五月十一日（土）に両津総合体育館を会場に指導者講習会が開催されました。講師はバルセロナオリンピック日本代表の仲村錦治郎様。佐渡では初めての講習会であり、島内指導者及び帶同選手八十八名が参加しました。

仲村氏は会場入りすると帶同選手の練習状況を確認し、佐渡の子どもたちのレベルに合った講習内容に組み立て直してくれました。講習会では、①狙った方向にボールを打つために打ちたい方向に押し出すこと。②トップスピンをかけられるようにならなければ、ラケットの面を正しく作り、③サービスはインパクトの瞬間をでかけるだけ短くし、フオロースル！など、実演を織り交ぜながら丁寧に指導していました。また、

令和元年十一月二日、妙高市総合体育館において、県卓連普及部の第二回指導者講習会を開催。株式会社TASの仲村錦治郎さんと河又大和さんを講師に迎え、上越地域を中心

に指導者及び帶同選手約一〇〇名が参加しました。

帶同選手は、小学生、中学生、高校生。新潟産業大学の選手四名が練習相手になり、指導者講習とともに、選手に技術や精神面について貴重な指導をしていただきました。

仲村さんが小学生のときに卓球を始めたきっかけは、大阪の児童館でした。その児童館には、全国大会の二位、五位の小学生がいて、その二人に勝ちたくて練習し、全国大会の



妙高支部
米持 和人



令和元年度 第一回指導者講習会を終えて

巧みな話術とけん玉やマジックで参加者の集中力を持續させていただきました。指導者にとって、特に有意義だったのは、「ドライブ回転のボールに対する練習は不要」など、日頃練習すべき内容をわかりやすく教えていただいたことです。

佐渡では中学校の部活動で卓球を始める選手が多く、部活動の指導者も卓球未経験者がほとんどで、一流選手の技術を直に見たり、練習方法や考え方を直接聞いたりできる貴重な機会となりました。

仲村さんは「神のサービス」「神のレシート」で知られています。神のシステムは技術の習得ではなく、どうやったら勝てるかを考えること。現在、技術はユーチューブで覚えられる。勝ちやすくなるには、人から教わるのではなく、本人の勝とうとする考え方が重要との指導でした。

具体的には、「①力加減」角度スピード、ストップなど調節できる能力を自分で覚えること。センスで

優勝につながつたそうですが、中学生の弁論大会では、在学中にオリエンピックに出場するととも勝つ方法主張。難しいことから入ることひとつのひとつとのことでした。

卓球の技術は、サーブ、ドライブ、スマッシュ、ブロック、フリック、ツツツキ、ストップ、チキータ、ロビング、カットなど。得意な技術を横に使用して、台の半分、四分の一を使つた練習など、選手は初めての体験をしました。

卓球の技術は、サーブ、ドライブ、スマッシュ、ブロック、フリック、ツツツキ、ストップ、チキータ、ロビング、カットなど。得意な技術を高めてほしい。ドライブから覚えて、角度を安定させることで、ミスをしない戦術もある。サーブは回転、変化、フェイク、スピード、選択の組合せで、切るかナックルが有効。切るには遠心力で。回転がわからないときのレシートは、思い切り切るなど、実技を交えた具体的な指導が続き、指導者、選手はそれぞれの技術向上のきっかけをつかんだと思います。

貴重な講習会の機会を得ることができます。県卓連普及部の皆様に感謝いたします。

は勝てない。台上プレイでミスをしないことや、飛ばさない能力を身につけること。「②勝負強さ」持つ技術が少なくて勝つ人がいる。水谷選手はロビングのみで小学生で優勝した。その後にドライブやサーブを覚えればよい。得意な技術を身につけること。負けず嫌いでどうやつたら勝てるかを考えほしい。けん玉は卓球とそつくり。